

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伊賀良ふるさと教材製作事業
事業主体 (連絡先)	伊賀良まちづくり協議会伊賀良公民館委員会
事業区分	教育文化の振興、地域協働の推進
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,129,500 円 (うち支援金 : 2,310,000 円)

事業内容

【教材製作事業】

郷土学習を行っている公民館講座「伊賀良を学ぼう」の参加者が執筆、編集し製作する。教材製作にあたり小学校での活用のため、先生にも編集に関わっていただき小学生にとってのわかりやすさ、授業での使いやすさを追求した。内容に正確性を期するため有識者に監修を依頼した。

【教材製作を活かした事業】

小学校クラブ活動への参画、4年生への校歌の授業、3年生への伊賀良かるたの授業。原稿作成に付随して地域を学ぶ講座(農業、商工業、体験教育旅行、文化財等)を展開した。



【編集会議】



【教材製作のための学習会】

事業効果

①原稿にしていく段階で不明な部分や曖昧になっていた部分も多数出てきた。その都度、学習を深めていくことで正しい知識を得るとともに、新しい学びを得ることができた。これまで伊賀良を学ぼうで調査研究してきた中村八幡社の狛犬が今年度飯田市教育委員会より市有形文化財に登録された。

②地域住民が講師、参加者となる講座が大半のため、講座を通して新しいつながりを作ることができた。

③子ども達に「伊賀良」を伝える

- ・小学校クラブ活動への参画(伊賀良めぐりクラブ)
- ・4年生への校歌の授業(4クラス)
- ・3年生への伊賀良かるたの授業(1クラス)

合計 150 名以上の子ども達に伊賀良のことを伝える活動を実施した。伊賀良の文化、歴史、先人たちの想いを子ども達に伝えることができた。

【目標・ねらい】

- ①これまでの学習成果の整理と新しい魅力の発見
- ②住民同士のつながりの形成
- ③子ども達に「伊賀良」を伝える

※自己評価【 A 】

【理由】

事業を通じて学びを深めるとともに、自分たちの学びを地域に還元し、次世代にもつなげていくことができた。また教材製作を通じて参加者の今後の学習意欲の向上にもつながった。

今後の取り組み

公民館の「伊賀良を学ぼう」、「かさまつ大学」等の各種講座での活用や小学校、図書館などの各種団体と連携し、伊賀良の財産を様々な世代に伝え、地域への愛着や誇りを醸成する活動を展開していく。